

ふくい街角景気速報

(令和7年4月分)

調査期間 令和7年4月17日～24日 (回答率: 90%)

概 況

景気の現状判断DIは43.1となり、前月と比べ3.0ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは43.3となり、前月と比べ3.9ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 43.1 (前月比 ▲3.0)

○家計動向関連では、前月に比べ 8.4 ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 3.2 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

○観光シーズンを迎え、引き続き対面型サービスを中心に回復の動きがみられる。

一方で、物価高の影響で小売業やサービス業など個人消費の伸び悩みなどが足かせになっている。(銀行等金融関連)

○物価高、燃料高は何も変わらない上に、トランプ関税の影響などで社会全体が不安定であるため消費マインドが上がらない。(百貨店、SC等)

■景気の先行き判断DI 43.3 (前月比 ▲3.9)

○家計動向関連では、前月に比べ 5.1 ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 1.4 ポイント低下した。

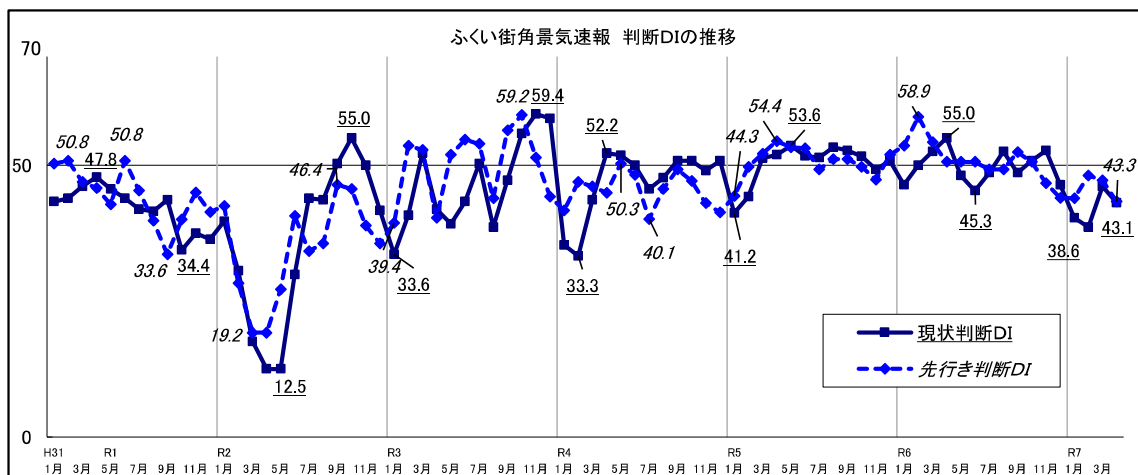
○雇用関連では、前月に比べ 6.8 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○客単価は商品単価上昇でやや伸長しているが、購買率が低迷。また目的以外の物の購入が少なく、催事などで大幅の動員増があっても、他への買い回りが少ない。

(百貨店、SC等)

○アメリカの相互関税が発動したため、県内も製造業等を中心に業績への下押しが懸念される。関税政策には不透明感が強く、企業の設備投資も慎重になる可能性が高いほか、日米交渉も早期妥結および関税撤廃は見込み辛いとみている。(銀行等金融関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 11	12	R7 1	2	3	4	(前月差)
合計		52.7	46.4	40.3	38.6	46.1	43.1	▲3.0
家計動向関連		52.2	46.1	35.9	33.3	46.7	38.3	▲8.4
小売		47.5	43.1	39.2	35.3	45.8	38.4	▲7.4
飲食		60.0	50.0	35.0	25.0	65.0	25.0	▲40.0
サービス		62.5	52.3	27.3	32.5	40.9	43.8	+2.9
企業動向関連		52.2	45.6	43.8	42.4	43.9	47.1	+3.2
製造業		52.0	46.9	43.5	40.2	41.3	44.8	+3.5
非製造業		52.8	42.5	44.4	47.5	50.0	52.5	+2.5
雇用関連		56.3	50.0	47.9	47.9	50.0	50.0	+0.0

○回答別構成比

	年 月	R6 11	12	R7 1	2	3	4	(前月差)
良くなっている		4.4%	1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	1.1%	▲1.1
やや良くなっている		24.2%	15.4%	5.6%	6.7%	14.4%	14.4%	+0.0
変わらない		50.5%	54.9%	53.3%	48.9%	55.6%	47.8%	▲7.8
やや悪くなっている		19.8%	25.3%	33.3%	32.2%	21.1%	28.9%	+7.8
悪くなっている		1.1%	3.3%	6.7%	11.1%	6.7%	7.8%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 11	12	R7 1	2	3	4	(前月差)
合計		46.7	44.0	43.9	48.1	47.2	43.3	▲3.9
家計動向関連		46.7	42.8	45.1	47.2	45.7	40.6	▲5.1
小売		49.2	43.1	44.2	46.6	44.2	41.1	▲3.1
飲食		35.0	35.0	45.0	50.0	60.0	40.0	▲20.0
サービス		45.0	45.5	47.7	47.5	43.2	39.6	▲3.6
企業動向関連		44.9	43.4	39.8	47.0	47.7	46.3	▲1.4
製造業		44.0	41.7	39.1	45.7	44.6	44.8	+0.2
非製造業		47.2	47.5	41.7	50.0	55.0	50.0	▲5.0
雇用関連		52.1	50.0	50.0	54.2	52.3	45.5	▲6.8

○回答別構成比

	年 月	R6 11	12	R7 1	2	3	4	(前月差)
良くなる		1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなる		16.5%	13.2%	8.9%	17.8%	24.4%	16.7%	▲7.7
変わらない		54.9%	51.6%	56.7%	54.4%	45.6%	43.3%	▲2.3
やや悪くなる		23.1%	28.6%	26.7%	21.1%	20.0%	32.2%	+12.2
悪くなる		4.4%	5.5%	5.6%	4.4%	8.9%	6.7%	▲2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	寒い日が続いたが、コロナ・インフルも減少しており、新生活の需要が有るので売り上げに繋がっていると思う。
		福井	コンビニエンスストア	米飯類を10%弱の値上げを実施。おっかなびっくりであったが、ことのほかスムーズに受け入れられ、売上好調となっている。
	企業動向	丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性もあり、3か月前と比較して、受注・売上が若干の増加した。
	雇用	福井	学校就職担当者	企業からの求人情数が多い。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	北陸新幹線開業一周年効果は良い意味であると思うが、物価高や米価高騰が押し下げている感じがある。
		福井	百貨店、SC等	2月の大雪苦戦による反動、気温上昇&モチベーション需要拡大で、衣料品はやや改善した。特に入卒・結婚などの需要による重衣料の拡大は、高単価で衣料全体を押し上げた。
		嶺南	スーパー	客数、売り上げ共に昨年並みである。
		嶺南	飲食関連	新年度が始まったけれど、物価は下がらず、やや上がり気味で変わらずしんどいと思う。
		嶺南	観光関係	桜前線の訪れと共に、観光客の動きも堅調になってきた。少し総人数が減少気味なのは気になるところだが、単価の上昇で補えているようである。インバウンドも変わらず堅調。
	企業動向	奥越	繊維関連	受注量や内容に景気要因と思われる変化が感じられない。
		丹南	電気機械関連	様々な商品の値上げ等もあるが、現状大きな変化までは起こっていないと感じる。
		福井	銀行等金融関連	観光シーズンを迎え、引き続き対面型サービスを中心に回復の動きがみられる。一方で、物価高の影響で小売業やサービス業など個人消費の伸び悩みなどが足かせになっている。
		福井	銀行等金融関連	行楽シーズンを迎え、県内でも観光需要が期待できるものの、物価上昇に対し中小企業の賃金上昇が追いついていない環境下では、消費行動の拡大も限定的と思われる。
		丹南	建設・不動産関連	正直なところ「わからない」が一番近い回答。二転三転するトランプ関税で全体的に様子見となっているように感じる。
		嶺南	運輸関連	円不安定。物量少ない。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	企業訪問等による情報交換では、物価高・金利高の影響もあり厳しいとの声を聞くほか、市内の有効求人倍率は若干下がったものの、創案件数、廃案件数などの数値は前年と比較しても、さほど変わっていない。
		嶺南	労働相談員	労働相談については、3か月前の1月と何ら変化していないので、景気は変わっていないと判断する。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	気温が低かったのと、食品物価の高騰で顧客様の来店が少ない。
		福井	百貨店、SC等	トランプ関税で株式市況が不安定並びに物価高騰を受け、春のモチベーション需要は持ち直すも、確実に不要不急以外の商品への消費欲は低下傾向。
		福井	百貨店、SC等	物価高、燃料高は何も変わらない上に、トランプ関税の影響などで社会全体が不安定であるため消費マインドが上がらない。
		坂井	スーパー	米などの値上げが続いており節約志向が続いている。
		嶺南	コンビニエンスストア	気候がだいぶ暖かくなってきているが、観光のお客様が少ないように思う。
		福井	サービス業関連	お客様との会話の中で、来店周期を長くしたり、メニューを変更したりなど節約志向の方が増えたと感じる。
	企業動向	福井	繊維関連	受注量が減っている。
		嶺南	食料品製造関連	原価の高騰などで利益率が減少している。
⑤悪くなっている	家計動向	福井	百貨店、SC等	既存店において物価高による売上減。
	企業動向	福井	商社	4月からの運賃の値上げと価格転嫁遅れ。人件費の賃上げ実施。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	6年に一度開催される祭「七年祭」があるので、需要があると思う。また、夏の観光シーズンを控えているため、期待は膨らんでいる。関西万博の流れがくると有難い。
		福井	観光関係	夏に向けて観光客増加を見込んでいるが、昨年までには届かないと予想している。
	企業動向	丹南	鉄鋼関連	アメリカの高関税措置の猶予期間が終了する前の駆け込み需要がある。
		福井	銀行等金融関連	雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果や北陸新幹線の県内開業もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇やアメリカの政策動向、資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。
	雇用	福井	学校就職担当者	若手社員の活躍が期待される。新幹線開通によりサービス業が発展すると考える。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	引き続き緩やかな上向き状態が続くと思うが、米価格の高騰が先行きの景気感に不安を与えている。
		福井	百貨店、SC等	客単価は商品単価上昇でやや伸長しているが、購買率が低迷。また目的以外の物の購入が少なく、催事などで大幅の動員増があっても、他への買い回りが少ない。
		奥越	観光物産関係	材料がすごく高くなっている。
		福井	サービス業関連	当社の業務には関税の影響は直接的にはない。
		嶺南	観光関係	大きな変化はないと思われるが、まるで夏と冬しかないような大きな気候変動で、7月は酷暑となり、落ち込みも心配される。
	企業動向	坂井	繊維関連	アメリカの関税等の影響の懸念もあり不透明部分がある。
		福井	一般機械関連	輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少が暫く続く見通し。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性で、例年、受注・売上が増加する時期に入っていく一方で、米国の大統領の動きが、世界情勢や景気に不透明感を与えることを懸念している。
		福井	化学・プラスチック関連	受注見込み状況に大きな変化が見込めない。
		嶺南	商社	個人消費の回復の遅れ、アメリカ経済の影響。
		福井	建設・不動産関連	日米間の関税不透明による影響。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	世界情勢が不安定でどのように事業者様が動くのか不透明だが、よくなる要素が思い浮かばない。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	百貨店、SC等	景気の見通し立たず、さらには米国内での不安定要素。お米市場の先行き不安などもあり物価高騰のあおりや、これから夏の参議院選挙に向かう、政局の不安定さは消費マインドに好印象は無く、厳しさが残る印象。
		奥越	百貨店、SC等	物価高だけが進むとより、財布の紐が堅くなり、厳しい状況がより鮮明になってくると思われる。
		坂井	スーパー	備蓄米放出でも米の価格は大きく変動しておらず、引き続き節約志向が続くと思われる。
		嶺南	コンビニエンスストア	外国での戦争、アメリカの関税など直接日本には影響はないかもしれないが、景気が悪いのか、物の値段が上がる一方なので、小売店は物が売れにくいと思う。
		福井	飲食関連	新幹線効果も停滞し、消費・労働力が人口減少の影響が出ている。それを覆すポジティブな事がない。
	企業動向	奥越	繊維関連	トランプ関税など米国の動きに翻弄されることで輸出が減少する懸念がある。
		嶺南	その他製造関連	公共工事の更なる減。
		福井	銀行等金融関連	アメリカの相互関税が発動したため、県内も製造業等を中心に業績への下押しが懸念される。関税政策には不透明感が強く、企業の設備投資も慎重になる可能性が高いほか、日米交渉も早期妥結および関税撤廃は見込み辛いとみている。
	雇用	嶺南	労働相談員	今後の経済状況が、雇用問題から労働相談へと発展しかねないから、景気は後退すると思う。
		嶺南	学校就職担当者	トランプ関税で影響を受ける企業も多いと考えられ、今後の動きに注力が必要。
⑤悪くなっている	家計動向	福井	観光関係	物価高による影響が大きいと感じている。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、
悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、
今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)